

第2510地区 第11グループ



2006~2007

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2006~07年度
国際ロータリーのテーマ

率先しよう



2006~07年度
国際ロータリー会長

ウィリアム B. ボイド

柴崎 晃 会長 テーマ — 今、出来る事から始めよう —



11月8日新入会員卓話 深瀬 晃一 会員

《第2082回例会》 第19号 11月15日(水)

本日のプログラム

夜間例会「中華バイキング家族会」

函館国際ホテル 午後6時30分～

★会長 柴崎 晃 ★幹事 山下清司

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 ニチロビル4F TEL23-3870

函館の街で、最高のおもてなしを...



函館国際ホテル

〒040-0064 函館市大手町5番10号

TEL(0138)23-5151(代)

<http://www.hakodate.ne.jp/kokusaihotel/>

(広告掲載：竹谷 満 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

◎10月25日出席報告

会 員	32名	出席率対象会員	31名
		出席規定免除会員	1名
		出席率規定免除会員	0名
当日出席	20名	当日欠席	11名
他クラブ出席	6名	出席合計	26名
出席率		83.87%	

・テレフォンサービス(例会移動案内)電話26-3170番

次回・11月22日
プログラム

会員卓話「健康診断よりみた生活習慣病」

斉藤 紀一 会員

11月8日の記録

◎司 会 柴崎 晃 会長 ◎斉 唱 我等の生業、四つのテスト

◎ビジター 2750地区 米国グァム タキンベイR.C. 渡辺卓美君、函館R.C. 丸山雄一君

◎会長報告 柴崎 晃 会長

○前年度ガバナー補佐の薮下会員へ10・11グループから記念品をお渡しします。

○理事会報告

1. ハーフマラソンの収支決算について

合計329,000円の支出になりました。残金は次年度へ繰入れします。

2. 台北東北R.C. 25周年について

11月15日例会の前に(17時30分より)実行委員会を開催します。

3. 例会時の名札について

新しく製作しますので、1人あたり1,260円ご負担願います。

◎幹事報告 山下 清司 幹事

○次週例会は夜間例会です。

○2007年国際ロータリー年次大会はアメリカソルトレイクシティです。登録及びチケット申込用紙を回覧します。

○函館ハーフマラソン大会長 井上市長より支援のお礼状が来ております。回覧します。

◎親睦活動委員会 崎野 浩志 委員長

ニコニコBOX投入報告

柴崎 会長……深瀬会員卓話楽しみにしております。

山下 幹事……健康診断おつかれ様でした。

斉藤 会員……健康診断よろしくお願ひします。

中野 会員……BOXへ協力。

竹谷 会員…… ”

薮下 会員……深瀬会員、卓話楽しみにしております。

森 会員……BOXへ協力。

佐々木会員……孫が生まれましたので。(LL判)

泉 会員……BOXへ協力。

小笠原会員……受付に佐々木さんがいたので。

西尾 会員…… ”

新 会員…… ”

増山 会員……今日はうちの会社の広告が載ってます。ふとんの丸洗いいかがですか。

山下(副)会員……BOXに協力。

紫前 会員…… ”

中川 会員…… ”



11月8日 健康診断

◎新入会員卓話 深瀬 晃一 会員

7月より、皆様のお仲間に加えていただいた深瀬でございます。

私の父も当クラブに所属させていただきました、二世会員でございます。

3ヶ月が過ぎ、いろいろ勉強させていただいております。

私が、初めて皆様に挨拶をさせていただいたときの言葉、会報にも載せていただきましたが、ご記憶にございますでしょうか。

入会させていただくときが、熟した。こう表現させていただきました。

実は私、斉藤先生には以前にもお誘いを受けました。そのときは、辞退させていただきました。では、そのときと今と何が違うのでしょうか。

ひとつは、以前より時間的余裕ができたということといえば聞こえはいいですが、暇になったということです。みんな元気になって、患者が減ったのならよいのですが、医療費はつまり病院の収入は減っているのですが、自己負担金が増えたために、病院に掛かりたくても掛かれない、そんな方が多くいらっしやるのです。

こんな例がございます。下海岸の高血圧のおばあちゃんでしたが、「もう先生に掛かれない、金ねえし。おらなんともねえから大丈夫だ。」それが最後で、次に呼ばれたときは、死亡確認のときでした。これが医療費削減の現実です。機会があればこのこともまたお話しします。

さて、もっとも大きな入会の理由は、社会情勢の変化すなわち、経済的格差の拡大です。

かつて日本は、一億総中流社会といわれ、諸外国より貧富の差が目立たない国といわれてきました。

しかし、今は違います。私は、今の格差社会をこう見ます。

少数の富裕層、次に私のような中間層、そしてかつて中流意識をもてた多くのかたがたは、その下の階層に落ちてしまっているわけです。特に函館のような地方都市においては、その傾向は顕著であると思えます。

私どもとて、一瞬の油断が、下層への転落の危険を常にはらんでおります。

格差社会の生むものは、低所得層の社会に対する閉塞感からくる苛立ち、高所得層への敵愾心であったり、それは社会不安や、社会秩序の破壊へともつながりかねないものです。

従来は、公のサービスの中でその解消はなされたようですが、公のそうしたサービスが低下している中では、インフォーマルな形でのたとえば当クラブのような、奉仕団体のサービスなどがそれを補完するものとして必要になってくるのだと思います。

企業の立場からメリット

アメリカの化学工業会社の話

わが町、松川町における名美興行の話 少なからず周囲に迷惑

情けは人のためならず

財産を増やす話

最大の財産は健康→疾患別DVD 昔ながらのツールでは、理解が、やる気が

無償提供いたしますので、入手された方はニコニコBOXへ